

vol.16

2018
June

NEWS LETTER

近畿大学工学部産学官連携推進協力会 ニュースレター



NEWS LETTER Vol.16

01

協力会活動報告

近畿大学工学部研究公開フォーラム2017
社会人リカレント講座2017

03

新入会会員紹介

06

研究センター紹介

知能計測工学研究センター紹介
研究シーズ紹介

08

TOPICS & NEWS

広島銀行、もみじ銀行による寄附講座が開講されました
「ニーズ/シーズのマッチングフォーラム」が開催されました
公開講座を開催します

09

共同研究事例の紹介

CASE1 特許出願につながった事例
CASE2 学生の就職につながった事例

お知らせ

メールマガジンをはじめました。

協力会事務局では、会員、関係機関の皆さまにいち早く情報をお伝えするため、メールマガジンの配信をはじめました。

〈メールマガジン内容〉

- ・イベントのご案内
- ・講演情報
- ・ニュースリリース 等

▶メール配信のお申し込みはこちらから

<http://www.h-kindairenkei.org/newsLetter/mailmagazin.html>



近畿大学工学部 研究公開フォーラム2017

平成29年10月30日(月) ホテルメルパルク広島

【写真】特別講演の様子

協力会設立
15周年
記念特別講演

「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」

近畿大学 総務部長 世耕 石弘

「エコ出願」やインパクトのある広告など、これまで近畿大学が行ってきた広報戦略について実例を挙げて紹介しました。また、企業においても人材不足が深刻になる中、会社の魅力を知ってもらい、優秀な人材を集めるためのコミュニケーション戦略の重要性についてお話ししました。



研究発表

- 高機能性脂質を主体とする高齢者用食品の開発
化学生命工学科 教授 渡邊 義之
- 東広島市の中山間地域における空き家古民家を活用したまちづくりに関する研究
建築学科 准教授 谷川 大輔
- 肝臓病態における細胞系譜解析～米国の研究と教育に触れて～
教育推進センター 講師 小川 智弘

ポスター
セッション



協力会会員企業8社、協力機関8機関による事業内容紹介や、工学部教員45名の研究シーズ紹介のポスターセッションを行い、参加者との意見交換が行われました。工学部教員のほかに学生も多く参加し、実験装置などを用いながら日頃の研究成果を積極的に発信しました。

交流会

交流会にも、引き続き多くの企業や協力機関の方々にご参加いただき、工学部教員も含めた参加者同士での活発な情報交換が行われ、交流を深めていただきました。



第1回 金属積層造形技術(中級)～現場導入に向けた技術の習得～

日 時:平成29年11月25日(土) 10:00～16:00 会 場:近畿大学次世代基盤技術研究所

平成28年度に開催した社会人リカレント講座「金属積層造形技術～基礎的な技術・知識の習得～」の中級編として、金属積層造形装置(金属3Dプリンタ)の現場への導入に向けた技術の習得を目的として開催されました。

近畿大学は、平成26年に次世代基盤技術研究所内に最新の金属3Dプリンタ(SLM280HL)を導入しました。同年4月1日に3D造形技術研究センターを新設し、日本国内での金属積層造形研究の拠点として企業との共同研究で研究開発・製品の開発等の支援を行うとともに、この分野での人材育成にも取り組んでいます。

参加者には、金属積層造形装置を導入するにあたり必要となる造形の段取りや材料の管理方法等の知識を、講義や実機を使った実習を通して学んでいただきました。

【講 師】近畿大学次世代基盤技術研究所 3D造形技術研究センター
研究員 米原 牧子

【参加者】5名



【写真】1.実習の様子 2.実習で作製した造形物

第2回 企業での研究開発に役立つ知的財産入門～中国電力の取組みと大学との共同研究～

日 時:平成30年2月17日(土) 10:30～15:30(個別相談会 15:30～16:00) 会 場:近畿大学次世代基盤技術研究所

知的財産の基礎知識を学んでいただくとともに、企業の知財戦略の取組みや、大学との共同研究を進めるにあたり知っておきたい知的財産の知識の習得を目的として開催されました。

「知的財産法のイロハ」

近畿大学工学部 教育推進センター
講師 西條 潤 氏



講義終了後には、個別相談会を開催し、参加者から講義内容から共同研究について等、多岐にわたりご質問をいただきました。

【参加者】12名

「企業における知財戦略とその実践～中国電力の取組み～」

中国電力株式会社 エネルギー総合研究所
マネージャー 松浦 一郎 氏



「大学との共同研究において知っておきたい知財の知識」

近畿大学リエゾンセンター
コーディネーター 伊藤 博之 氏



【写真】講義の様子

新入会会員紹介

イームル工業株式会社



■代 表 者 / 取締役社長 山田 哲夫
■事業内容 / 水力発電用水車及び付属機器の設計・製作・販売・据付
■所 在 地 / 〒739-0151
広島県東広島市八本松町原10852-1
■T E L / 082-429-2180
■F A X / 082-429-0614
■U R L / <http://www.eaml.co.jp/>

イームル工業株式会社は1947年の創業以来、中小水力発電プラントメーカーとして 中国電力をはじめ多くの電力会社、各県企業局、農業協同組合、重電メーカー等の水力発電設備の新設、更新、メンテナンスを行い、自然エネルギーの活用・拡大に努めてきました。

昨今、地球温暖化防止や原油価格高騰等を背景に水力発電への関心が高まり、強い追い風が吹いています。創業70年で培った実績・技術を活かし、これからも環境にやさしい水力発電を通じて、日本全国に展開、海外へ躍進していきます。

株式会社島屋



■代 表 者 / 代表取締役 吉貴 隆人
■事業内容 / 鉄鋼一・二次製品販売、建材商品設計施工販売、食品の加工販売
■所 在 地 / 〒733-0833
広島県広島市西区商工センター6丁目8番58号
■T E L / 082-277-1133
■F A X / 082-278-2240
■U R L / <https://www.shimayas.co.jp/>

創業60年以上にわたり、鉄鋼屋根の加工・施工・販売を行ってきました。中国地方では屋根・外装シェアNo.1の実績を持つ、歴史と伝統のある会社です。Mazda Zoom-Zoomスタジアム・ひろしま美術館など多くの実績があります。屋根を主軸にしながら、太陽光パネルや外装・内装事業も展開している他、食品商社・セミナー(EG)事業といった全く新しい事業にも挑戦しています。次の島屋を担える事業を常に見据えて、景気の変動に負けない企業にするために高い目標を掲げ社員全員で協力して会社を育てていこうという思いで働いています。社員が会社に誇りを持ち、「親子2代で働きたくなる」会社を目指しています。

株式会社ソルコム



■代 表 者 / 代表取締役社長 平原 敏行
■事業内容 / 電気通信工事の設計・施工・保守、電気通信機器、IT関連機器の販売・構築・保守
■所 在 地 / 〒730-0054
広島県広島市中区南千田東町2-32
■T E L / 082-504-3300
■F A X / 082-504-3389
■U R L / <http://www.solcom.co.jp/>

わたしたちソルコムは、「お客さまからの信頼を最優先に、時代の変化に即応し、先進の技術と豊かな創造力により、地域社会の発展に貢献する」ことを企業理念に掲げ、総合エンジニアリング企業として、地域に密着した活動を展開しています。情報通信ネットワーク構築の分野で長年培ってきた、電気通信設備構築技術を駆使し、あらゆる通信設備について、設計から施工、保守までの一貫したサービスをご提供いたします。また、ITソリューション事業では最新のIT技術とノウハウを駆使して、システム提案・構築・保守・運用までお客様のご要望にお応えします。

新入会会員紹介

中外テクノス株式会社



- 代表者 / 代表取締役社長 福馬 勝洋
- 事業内容 / 環境分析、橋梁・トンネル点検、構造物・非破壊検査、検査機器の制作、計装機器のメンテナンス
- 所在地 / 〒733-0013
広島県広島市西区横川新町9-12
- T E L / 082-295-2222
- F A X / 082-292-1129
- U R L / <http://www.chugai-tec.co.jp/>

中外テクノス株式会社は1953年に広島で創業しました。実測からソリューションまでを一貫して行う総合検査会社です。現在では、全国展開を図り、独立系技術サービス会社では全国トップクラスの規模と実績を持っています。また、ベトナムに子会社を設立し、海外展開を進めています。

環境調査・分析、構造物調査、調査に基づくシミュレーション、予測に基づくコンサルティング、解決方法を実際の形にするエンジニアリングまた、受託研究・研究支援も行っています。

株式会社HIVEC



- 代表者 / 代表取締役社長 清水 隆司
- 事業内容 / 自動車、その他の輸送用機械器具およびこれらの部品のデザイン・設計及び製造
- 所在地 / 〒739-0037
広島県東広島市西大沢二丁目1番21号
- T E L / 082-490-0700
- F A X / 082-490-0710
- U R L / <http://www.hivec.com/>

弊社は「広島をアジアの自動車開発の拠点に」を合言葉に2003年に設立した自動車メーカー系列に属さない新しいコンセプトの会社で、開発から生産準備までを一括受託できる体制を構築しております。また、自動車開発ノウハウを活用し、鉄道車両や農機具等への業務拡大を行うとともにグローバル化に対応するためインドとインドネシアに現地法人を設立いたしました。2017年には炭素繊維複合材料3Dプリンターを導入し軽量かつ高強度な製品の開発・製造を可能としております。グローバルカンパニーの実現に加え、自動車開発技術を軸とした総合エンジニアリング会社を目指しております。

株式会社中電工



- 代表者 / 代表取締役社長 小畑 博文
- 事業内容 / 屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
- 所在地 / 〒730-0855
広島県広島市中区小網町6番12号
- T E L / 082-291-7411
- F A X / 082-233-1344
- U R L / <http://www.chudenko.co.jp/>

株式会社中電工は、「総合設備エンジニアリング企業」としてお客さまのために高度な価値を付加した生活・事業環境を創出することにより、社会の発展に貢献することを企業使命として活動しています。

また当社には5つの工事部門があり、電気・空調管・情報通信工事においては、営業・工事の各部門が一体となって積極的な営業活動を展開し、営業基盤の強化に努めるとともに、配電線・発送変電工事においては、中国地方の電力の安定供給を担っています。

「人と技術で“夢”づくり」、中電工はお客さまの「快適」をひとつひとつ「かたち」にするため“いいしごと”を行ってまいります。

豊国工業株式会社



- 代表者 / 代表取締役社長 金谷 俊宗
- 事業内容 / ダム設備、水門設備、除塵設備
- 所在地 / 〒739-0024
広島県東広島市西条町御園宇6400-3
- T E L / 082-493-7000(代表)
- F A X / 082-423-8325
- U R L / <http://www.hokoku-kogyo.co.jp/>

「1000年先も地球でいたい」、自然との共生を謳う当社は大型溶接構造物や大型機械加工を得意としており、ダムや河川の水門設備を造っています。設計から製作、据付、メンテナンスまで一貫して行うことができる水門メーカーです。

製品は東広島から全国各地に納入され、地域の治水・利水に欠かせない社会インフラとして機能し、国民の生命や財産も守り続けています。



常石造船株式会社



- 代表者 / 代表取締役社長 河野 健二
- 事業内容 / 船舶の建造、修繕
- 所在地 / 〒720-0393
広島県福山市沼隈町常石1083番地
- T E L / 084-987-1101
- F A X / 084-987-0773
- U R L / <http://www.tsuneishi.co.jp/>

常石造船株式会社は国内外に4つの生産拠点をもち、造船事業をグローバルに展開する国内唯一の造船会社です。これらの生産拠点で長さ3万トン～18万トン級のばら積み貨物船やコンテナ船、タンカー、客船などの建造および修繕を行っています。1917年の創業以来、100年にわたる歴史の中で数々の挑戦を経て成長を続けてきました。「人や地域社会を大切に」基本理念のもと、さらに50年、100年と歴史を歩むために、今後も将来を見据えた技術開発や新たな船種への取り組み、海外展開の拡大など、失敗を恐れずチャレンジ精神で挑み続けます。



平成29年度の新入会会員 法人会員18社 個人会員7名
【協力会会員数:法人124社 個人54名(平成30年5月現在)】

新入会員
募集中

ご紹介ください

近畿大学工学部産学官連携推進協力会では会員を募集しています。
法人、個人問いません。

- 会費 法人会員 一口 5,000円
- 個人会員 一口 2,000円
- ※複数口(企業部門ごと)の入会も可能です。

お申込みはこちらから

- ▶ 近畿大学工学部産学官連携推進協力会ホームページ 入会案内より
<http://www.h-kindairenkei.org/nyukaiAnnai/index.html>



IoT技術の開発によるイノベーション創出と人材育成の推進 知能計測工学研究センター

近畿大学は、社会に役立つ研究を進めるため、2010年工学部キャンパス内に「次世代基盤技術研究所」を設立しました。産学官連携の窓口となる「社会連携センター」と、次世代を担う各分野の研究センターを順次設置してまいりました。2018年4月、新たに「知能計測工学研究センター」を設置しました。



近畿大学次世代基盤技術研究所

- 社会連携センター
- 自動車技術研究センター
- 先端ロボット工学研究センター
- 3D造形技術研究センター
- 建築環境研究センター
- 先端化学生命工学研究センター
- サービス工学研究センター
- 知能計測工学研究センター **NEW**

センター概要

近年の計測解析技術やインターネット・クラウド技術の進歩により、IoT(Internet of Things)の構築が加速されています。即ち、モノ(物)がインターネットに接続され、インターネットを介して情報のやり取りがなされることにより新しい価値が創造されようとしています。

本研究センターでは、情報処理技術を駆使したアプリケーション開発や環境・生体の情報をセンシングして解析する技術の開発に取り組みます。さらに、検出したデータを価値あるインテリジェンスに変えるAI技術とその応用技術の開発に取り組みます。また、地域や企業へのIoT実装の貢献と人材育成も進めます。

研究テーマ

- 1 非接触センシング技術と深層学習に関する研究
- 2 さまざまなIoT情報を無線免許不要で自由にやりとりできる可視光通信技術の研究
- 3 人工知能を用いた高速度画像処理及び知的認識の研究
- 4 IoTデータの配送基盤構築技術に関する研究
- 5 高感度磁気センサを用いた非破壊検査・環境計測の研究



藤野 貴之

電子情報工学科 准教授
[専門分野: 情報ネットワーク]
研究テーマ 4

藤本 暢宏

電子情報工学科 教授
[専門分野: 先進造形工学]
研究テーマ 2

センター長 栗田 耕一

電子情報工学科 教授
[専門分野: 計測工学]
研究テーマ 1

竹田 史章

電子情報工学科 教授
[専門分野: ニューラルネットワーク]
研究テーマ 3

廿日出 好

電子情報工学科 准教授
[専門分野: 計測工学]
研究テーマ 5

研究シーズ紹介

知能計測工学研究センターより

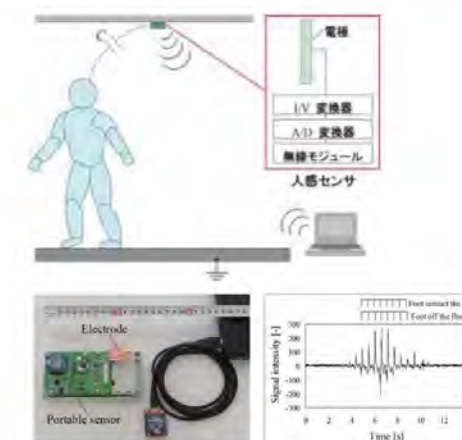
超高感度静電誘導を用いたアンビエントな人感センサ技術

栗田 耕一 (電子情報工学科 教授)

人体動作により人体電位は変動する。この人体電位変動を、超高感度静電誘導技術を用いて検出し、人体動作を非接触で検出する人感センサを開発。

本技術の特徴

- 1 カメラや照明を用いずに人体動作を検出
静電誘導を用いるため、通常のセキュリティで使用する赤外光源やカメラを用いることなく人体動作を検出することができる。
- 2 環境に溶け込んだアンビエントな検出が可能
センサ本体を壁に埋め込むことも可能なため、センサの存在を知られることなく人体動作を検出できる。
- 3 検出距離は最大5mでの検出が可能
センサ内部のオペアンプの帰還抵抗を3TΩに設定することにより、ピコアンペア(10⁻¹²)程度の非常に微弱な静電誘導電流の検出を可能にした。



2cm角の静電誘導電流検出電極を備え、無線モジュールでワイヤレス化を実現
人感センサで検出した歩行運動による波形の一例。波形を解析することにより個人識別も可能

POINT

- 従来技術の約200倍の検出距離達成
※従来技術で使用されている静電誘導センサの検出距離は25mm程度
- 人体動作のみならず摩擦帯電の変化を効率よく検出可能
- 人感センサ以外の応用も期待できる

本研究の適用分野・用途

- セキュリティ・入退室管理システム
- 防犯監視セキュリティシステム
- 不審者挙動検知システム
- 独居高齢者の見守りシステム

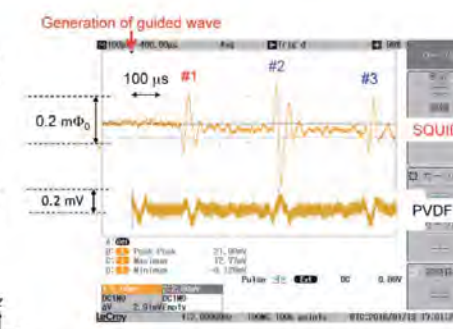
超高感度磁気センサを用いた構造物の超音波ガイド波検査技術

廿日出 好 (電子情報工学科 准教授)

長距離伝搬する超音波ガイド波を配管や板材などの対象に発生させ、欠陥での反射波を磁気信号に変換し、超高感度なSQUID磁気センサで計測、欠陥を検出・位置同定する。

本技術の特徴

- 1 非接触での欠陥検出
超音波の送受信に磁気や磁歪効果を用いるため、完全非接触での検出が可能。
- 2 従来技術を上回る性能
従来より2~3桁高感度なSQUID磁気センサのため、検査範囲・検出サイズが大きく向上。



上図:超伝導式の検査装置
下図:従来技術(下)と新技術(上)との信号

POINT

- 従来技術を2~3桁上回る高感度特性により以下を実現
- 従来より10倍の検査範囲
- 従来より1桁小さな検出可能欠陥サイズ

本研究の適用分野・用途

- 配管のリモート・広範囲検査
- 化学プラントの安全管理
- 橋梁の安全検査
- 長距離構造物の安全検査

広島銀行、もみじ銀行による寄附講座が開講されました

近畿大学工学部は2008年に株式会社広島銀行、株式会社もみじ銀行と産学連携に関する連携協定をそれぞれ締結しました。その一環で、毎年本学学生を対象に寄附講座を開講していただいています。

平成29年度寄附講座

◆広島銀行による寄附講座「起業と経営」(平成29年5月10日～5月31日開催 全4回)

起業に必要な実践能力を学ぶ講座で、資金調達、販路開拓、株式公開、国際化などについて事例を通して講義をしていただきました。(対象者:3～4年生 22名)

◆もみじ銀行による寄附講座「組織活動と情報システム」(平成29年9月27日開催)

「銀行業務と地域活性化」をテーマに特別講演を行っていただき、地域発展に貢献する地方銀行の役割、銀行業務の近年の変化などについてお話しいただきました。(対象者:情報学科3年 75名)

ひろしまベンチャー助成金・キャンパスベンチャーグランプリで受賞

広島銀行の寄附講座「起業と経営」でビジネスプランを作成し、ひろしまベンチャー助成金(学生枠)、キャンパスベンチャーグランプリ(中国)へ応募した学生が以下の賞を受賞しました。

プラン内容 「手軽で気軽にシェアしよう」をコンセプトに、学生用品を中心に、低価格でシェア(貸し借り)できるCtoCのスマホアプリを開発。これにより大学生の経済的格差を是正し「大学生の世界観を拓く」。

第24回「ひろしまベンチャー助成金」(学生枠)
地域コミュニティ・その他分野 銀賞
(平成29年12月12日受賞)

第16回キャンパスベンチャーグランプリ中国
ビジネス部門 優秀賞(ツネイシキャピタルパートナーズ賞)
(平成30年1月25日受賞)



【受賞者】足立 真一さん
(当時 情報学科4年)

「ニーズ/シーズのマッチングフォーラム」が開催されました

平成30年3月1日(木)、近畿大学工学部にて大学研究室訪問「ニーズ/シーズのマッチングフォーラム」(主催:(公財)ひろしま産業振興機構、東広島市産学金官連携推進協議会)が開催され、情報学科の谷崎 隆士 教授による研究紹介が行われました。

「ニーズ/シーズのマッチングフォーラム」とは、企業の方々から大学の研究現場を訪問し、先端分野の研究内容に触れるとともに、事業化に向けて研究者との意見交換を行うもので、20名が参加されました。



テーマ

「最適化技術の生産システムへの応用について」

情報学科 教授
サービス工学研究センター長 谷崎 隆士
[専門分野:数理最適化、スケジューリング、サービス工学]

研究概要 製造業・サービス業などの企業では、受注・生産・サービス提供・配送・設備レイアウト決定などの企業活動で様々な意思決定が行われる。ものづくりやサービス提供を効率的に行うために、データ分析に基づき最適化技術を用いて施策や計画の立案を行う仕組みづくりを研究している。



公開講座を開催します

近畿大学工学部では、地域の皆様に本学部の講義・研究内容を体験していただく場として、公開講座を開催しています。

一般向けと子ども向けに、さまざまな分野の知識を近畿大学工学部の教員がわかりやすく講義します。

詳細情報・お申込み

近畿大学工学部 公開講座 検索



共同研究事例の紹介

CASE 1 特許出願につながった事例



電子情報工学科
教授 竹田 史章



共同研究のきっかけ

株式会社ニチレイフーズと人工知能(AI)を使用した原料選別技術に関する共同研究を実施。きっかけは、画像の自動認識の技術移転に関して、ニチレイフーズによる調査の中で竹田教授の技術シーズに注目したこと。共同研究を開始するまでには、当初は意見の食い違いもあったものの、研究内容やその進め方に関し意思疎通のための打ち合わせを何度も重ねることで、共同研究契約締結に至った。

ニチレイフーズでは、これまで原料受け入れ時に様々な選別技術を活用して原料の品質保持・管理をしていたが、既存の判別精度では、選別後に人手や目視による検品の必要があった。

今回、竹田教授の保有する技術を核とし、企業側と大学との双方で研究を分担することにより、従来と比較し夾雑物除去率が約1.5倍、処理スピードが約4倍となる選別を自動で行えるようになった。共同研究開発した技術を導入することで、商品に使用する原料の品質保証力が格段に向上するとともに、生産性の向上や人手不足への対応等の効果も期待されている。なお、本技術に関する知財は、権利取得前にニチレイフーズに譲渡し、権利化後は企業側で自由に活用できることとなっており、将来の本技術の外部への販売も視野に入れている。

また、共同研究がスタートする前から本分野の研究に携わっていたニチレイフーズの若手社員に対して、竹田教授がシステム等の操作指導を研究室で行っており、その準備や実際の指導に学生が触れる過程で食品加工業界や当社の業務への関心が高まった。

CASE 2 学生の就職につながった事例



機械工学科
教授 樹野 淳也



共同研究のきっかけ

ドライバの知覚情報処理に関する研究のため、平成22年度に私立大学戦略的研究基盤形成支援事業で6軸モーション付ドライビング・シミュレータを導入した。その後、東大阪市にある近畿大学総合社会学部の前田節雄教授より学部横断型の共同研究の申し出があり、樹野教授と前田教授は、ドライビング・シミュレータと国際規格ISO2631-1に基づく全身振動測定システムを用い、人間の乗り心地知覚のメカニズム解明に関する研究に着手した。

このような技術シーズを持ち合わせていたことから、平成24年度から26年度にかけて、自動車メーカーや自動車部品サプライヤとの共同研究の実施に至った。

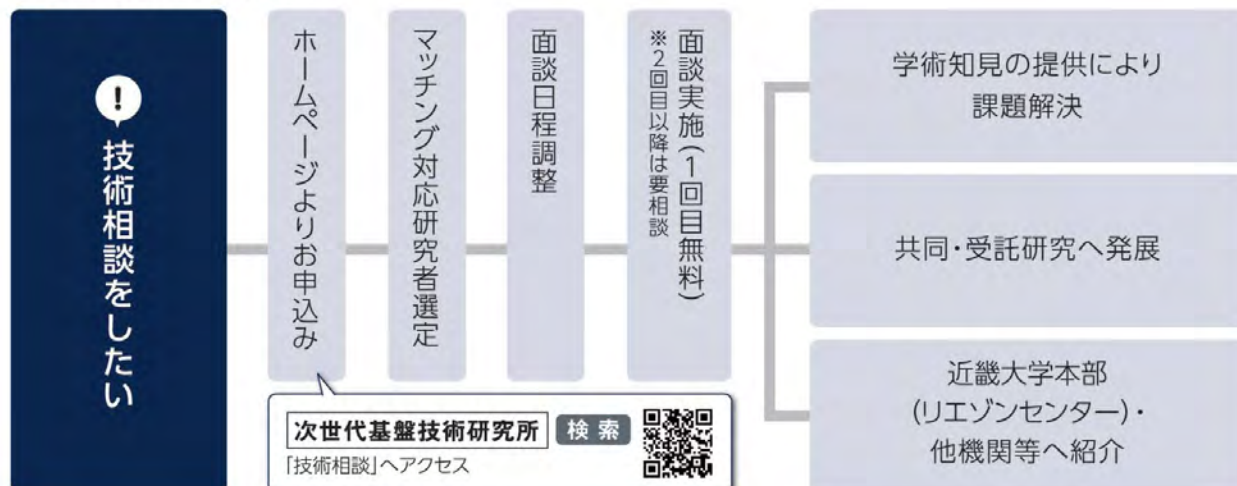
これらの共同研究では、多くの被験者を対象とした被験者実験遂行の必要性があったほか、実車の振動測定・評価実験では、機材の運搬・据付およびデータ整理など人的なアシストが必要であったため、当時、大学院修士課程に所属し、関連研究に取り組んでいた学生に実験補助として共同研究に参加してもらった。

これらの実験を通し、企業における研究開発の実際に触れる貴重な体験をただけでなく、1人の研究者の責務として国内学会(自動車技術会、日本人間工学会)における成果発表を行ったことなどから、当該大学院生は自動車業界における研究開発への意欲が高まり、最終的に共同研究先の一つである自動車部品サプライヤへ就職し、現在も活躍している。

近畿大学工学部 × ?? まずは相談から

近畿大学工学部では次世代基盤技術研究所社会連携センターを窓口として、近畿大学工学部の研究者への技術相談を随時受け付けています。次世代基盤技術研究所ホームページ「技術相談申込フォーム」等からお気軽にお申し込みください。

技術相談の流れ



技術相談の種類

研究情報提供	特許・技術移転	技術指導	研究者受入れ	研究者紹介	測定・分析
本学の特許、研究課題、研究成果などに関する情報を紹介・提案します。	本学(研究者)が所有する特許や研究成果などの実用化に際して、共同研究や技術指導などによる支援を行います。	種々の技術課題について、関連する研究者が指導します。	企業などに所属される方を研究者として受入れ、担当教員と同一テーマで研究開発しながら技術指導を受けることができます。	相談された分野において、本学で専門的に行っている研究者を紹介します。	共同研究等を前提として、本学が所有する高性能の機器などを活用した各種測定・分析の依頼に対応します。 ※単なる測定・分析業務のみは不可

技術相談の対象

対 象	・学術的知見の提供で対応可能なもの ・共同研究及び受託研究の受入れ等に結びつく可能性のあるもの ・地域産業への貢献に結びつく判断できるもの
分 野	材料、計測、センサー、制御、ロボット、塑性加工、自動車、機械、音響、振動、画像処理、光通信、熱、燃焼、エネルギー、生産加工、オペレーションズリサーチ、情報システム、ネットワーク、経営工学、化学、生物、建築設計・計画、建築構造・材料、環境

お問い合わせ

近畿大学工学部産学官連携推進協力会
(近畿大学次世代基盤技術研究所内)

〒739-2116

広島県東広島市高屋うめの辺1番

T e l : (082) 434-7005

F a x : (082) 434-7020

Email: riit@hiro.kindai.ac.jp

http://www.h-kindairenkei.org/

近畿大学 協力会

検索



アクセス

JR広島駅	JR山陽本線 約40分	JR西高屋駅	約5分
JR三原駅	JR山陽本線 約30分		約20分
JR山陽新幹線 東広島駅	車で約25分		
西条I.C. 高屋I.C.	山陽自動車道インターから車で約10分		
広島空港	車で約25分		
広島バスセンター	芸陽バス(JR広島駅～高速経由) 高美が丘・豊栄方面 約50分		

近畿大学工学部